



高木東六
生誕120年
記念

高木東六 1904-2006

米子市生まれ。東京音楽学校中退後パリに留学。帰国後作曲家として第一線で活躍した。《水色のワルツ》や《(旧)米子市の歌》など作品多数。テレビ出演や文筆活動でも人気を博した。1997年米子市市民栄光賞受賞。

ピアノを弾く高木東六(高木緑氏提供)

朗読とピアノ・歌でつづる 高木東六パリ留学日記

2024. **9/1** (日)

14:00~16:00 開場 13:30~

主催/高木東六顕彰事業実行委員会、米子市、(一財)米子市文化財団[米子市公会堂・米子市立山陰歴史館]、(公財)鳥取童謡・おもちゃ館 わらべ館 特別共催/(公財)鳥取県文化振興財団

【自由席】
入場料 一般1,000円 | 高校生以下 500円

会場 米子市公会堂大ホール
(鳥取県米子市角盤町2-61)

WEBチケット
とっとり

プレイガイド 米子市公会堂、米子市立山陰歴史館、わらべ館、
米子市文化ホール、米子市淀江文化センター、
アルテプラザ、エースバック未来中心、とりぎん文化会館



お問い合わせ先 米子市公会堂 TEL.0859-22-3236



朗読(VTR出演) 高橋克典

神奈川県横浜市生まれ。1993年『抱きしめたい』で歌手デビュー。俳優として『サラリーマン金太郎』『特命係長 只野仁』などのヒット作を得る。近年では2020年大河ドラマ『麒麟がくる』、22年秋NHK朝ドラ『舞いあがれ』に出演。24年6月スタートNHKBS時代劇『大岡越前7』では主演を務める。出演映画 22年5月『20歳のソウル』、22年8月『バイオレンスアクション』、24年2月『劇場版マダー★ミステリー探偵・斑目瑞男の事件簿 鬼灯村伝説 呪いの血』、24年7月『乱歩の幻影』が公開。BSテレビ東京『ワタシが日本に住む理由』レギュラー出演、bayfm78「GROOVIN'ON THE ROAD」ではメインパーソナリティとしてレギュラー出演中。

朗読とピアノ歌でつづる

高木東六とうろくパリ留学日記

102歳の生涯で20世紀を生き抜いたわが国音楽界のレジェンド、高木東六。今年が生誕120年です。

1930年前後の約3年、パリに学んだ高木は留学生生活を日記に書き留めていました。友人たちとの交遊、厳しい音楽の研鑽が、約100年前のパリの様子とともに克明に記述されています。なかでも同時期に留学し、終生高木のよき共演者であった声楽家の佐藤美子は、日記に最もよく登場する親友です。オペラやシャンソンを歌い、昭和の音楽界で絶大な人気を博した佐藤。このステージは、高木と佐藤の交遊を糸口に展開します。

俳優・高橋克典が日記の朗読で特別にVTR出演。米子出身でジャズからクラシックまで縦横無尽にこなす松本哲平のピアノに、地元のベテラン声楽家、白石由美子と鶴崎千晴が加わります。そして、藤井浩基と佐藤亜子ジュリエットが楽しくナビゲート。パリオリンピック・パリリンピックの興奮冷めやらぬ9月1日。高木東六という偉大な米子の先人がつないだ奇跡のコラボレーションが実現します！



佐藤美子(1903-1982)

曲目 《水色のワルツ》《なつかしのパリ》《(旧)米子市の歌》他 (高木東六 作曲)
《オー・シャンゼリゼ》《暗い日曜日》他



解説・企画・監修 | 藤井浩基

鳥根大学教育学部教授として音楽教育を本務とする傍ら、約30年にわたり高木東六研究に取り組む。歌劇《春香》や舞踊曲《鶴》など、高木作品の紹介や発掘、復元に携わったほか、遺族より提供を受けたパリ留学時代の日記(約1400頁)を5年かけて翻刻した。これまで鳥取短期大学非常勤講師、国立韓国芸術総合大学客員研究員、放送大学鳥根学習センター客員教授、2024年にはパリ・シテ大学(フランス)客員教授を務める。令和2年度米子市文化奨励賞受賞。



ナビゲーター | 佐藤亜子ジュリエット

パリ生まれ。3児の母。パリ第6大学で海洋生物学を専攻し、イルカに関する番組制作を機にテレビディレクターとなる。2011年にATP優秀賞ほか受賞歴多数。アフリカをはじめ世界各地で取材。1992年から15年間、国境なき医師団日本支部にて広報や教育プロジェクトを担当、理事も務めた。2018年に家族と鳥取県大山町に移住。育児をしながらNHKや放送大学などの番組制作に関わる。地元ではオオサンショウウオの保護活動や、SNS #YONAGOODで米子市のPR活動を実施。環境保護、教育、文化、観光、国際交流などグローバルな視野で未来を見据え、地元貢献を模索している。画家の佐藤敬、声楽家の佐藤美子の孫。祖父母を出会ったのが高木東六さん。



ピアノ | 松本哲平

米子市出身。現在、駒沢女子短期大学准教授。ジャズ、シャンソンピアニストとして活動を展開。「即興的なスタイルの中にクラシックで培われた繊細で美しい音色が感じられる」と評される演奏で多くの音楽ファンを魅了している。また、作曲・編曲家としても、さまざまなジャンルのアーティストへ楽曲やアレンジを提供している。東京を拠点に各地で演奏を行うなか、鳥取県での活動にも力を入れ、2015年10月には、米子マンドリンオーケストラ第30回定期演奏会でG.ガーシュインの「ラブソディ・イン・ブルー」を演奏し大好評を博した。2016年には、高木東六作曲の舞踊曲「鶴」の補作ならびに韓国の国立劇場(ソウル)、わらべ館における復元上演でピアノを演奏。



ソプラノ | 白石由美子

鳥根大学教育学部特設音楽課程卒業。声楽を藤井文子、中澤桂各氏に師事。米子市公会堂、音楽の友ホール(東京)、ネバダ州立図書館ホール(米国)、カウベルホール、倉吉未来中心等でソロリサイタルを開催。ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイヤ」、モーツァルト「レクイエム」等のソリストとしても出演多数。鳥取オペラ協会の「コシファントゥッテ」「フィガロの結婚」に出演。2002年CD「からたちの花/白石由美子」をリリース。2007年澤和樹指揮・東京弦楽合奏団と協演。鳥取短期大学名誉教授。



メゾソプラノ | 鶴崎千晴

武蔵野音楽大学声楽科卒業。声楽を森原紀美子、故藤田みどり、佐伯真弥子、平野弘子各氏に師事。ジョイント・コンサート、ソロリサイタルのほか、鳥取オペラ協会「フィガロの結婚」、新作オペラ「窓」等多数出演。アザレアのまち音楽祭参加。県民による第九、2012年米子第九合唱団ニューイヤーコンサートにてヴィヴァルディ作曲グローリアでアルトソロ。2015年、韓国で「アマールと夜の訪問者」公演に参加。同年11月にとりアートオペラ公演「魔笛」(ダーメ役)、2018年同公演「ヘンゼルとグレーテル」(母親役)で高い評価を得る。コールやまびこ指導者。鳥取オペラ協会副会長。

P お車でお越しのお客様へ
米子市公会堂連携駐車場のご案内

- 米子市役所駐車場(6時間無料処理)
- ひまわり駐車場(1時間無料処理)
- YEASTY PLACE(1時間無料処理)または近隣の有料駐車場をご利用ください。

米子市公会堂
ホームページ

